

北神塾 第七講

「経済のキホンとアベノミクスの『あべこべ』な姿」①

平成26年11月14日

北神 圭朗

【1】経済の流れ

1. 生活のために必要なものを買いたい人。(需要)
その必要なものを提供するお店や企業。(供給)
お店の企業で働く人が給料をもらう。
その給料から貯蓄する分と、消費する分とに分ける。
2. お店や企業の立ち上げ、あるいは、設備投資のために、借金あるいは株を発行する。
銀行は国民の貯蓄から貸す。株式は国民からの投資を財源とする。
3. 金融市場は本来、貯蓄を安定的に増やし、資金提供によって経済取引を円滑にする機能があった。
近年、純粋に金もうけのための投機が目的になってきた。
とくに商品市場で投機のために原材料や食料品が高騰し、経済を歪める。

【2】国民の生活が苦しくなる状態は？

- ① 需要が供給に対して足りない時に、企業の収益そして賃金が下がり、家計が苦しむ。
- ② 供給が需要に対して足りない場合に、物価上昇が起きて、家計が苦しむ。

【3】経済政策の目的は、国民を豊かにすること

1. 国民の富は、どうやって計るのか。
→①所得 ②消費 ③資産(株・土地)

それぞれが大事。しかし、所得や資産は消費や投資に回らなければ、経済は停滞し、結果として将来の所得減少につながる。そういう意味では、消費はもっとも現在の生活水準を正確に表し、その活力が将来の成長にもつながる。

【4】政府の役割は、「効率」と「分配」を均衡させること

- ① 上下水道、道路、インターネットなどの社会資本整備。
- ② 経済取引が社会常識にそって行われるための法律。
- ③ 災害や経済危機があった際の危機管理。
(生活物資の提供、金融資産の保護、景気対策)
- ④ 将来への経済成長のための環境整備。
- ⑤ 外国との経済交渉。
- ⑥ 格差是正。

【5】「景気対策」と「経済政策」(経済成長を促進する政策)は別物。

- 1. 景気対策は、経済危機などによる落ち込みを和らげ、ふたたび成長軌道に乗せるための手段。
 - ①公共事業 ②減税 ③金融緩和 ④為替 ⑤地域商品券 など。
- 2. 経済政策は、普段から、将来にわたって国民の豊かな生活を守るために必要な投資をすること。
 - ①人口(とくに働く世代) ②教育 ③研究開発 ④ある程度の自由競争

以上